

議会 定例会

松田町長が初の所信表明

「融和と前進」を町づくりのキーワードに

平成十六年町議会定例会は、十二月十四日から十七日までの四日間開かれました。

今回の定例会では、松田町長が就任後初の所信表明を行い、これからの町政運営について決意を述べました。

また、平成十六年度一般会計予算や五つの特別会計予算など十二の議案のほか、四つの行政委員の同意案件について審議が行われ、いずれも原案どおり可決されました。

町長の所信表明

町政運営に対する信念

私は美郷町の町政運営において、自分の行政運営に対する信念を大切にしたいと思います。その信念は「公平」、「誠実」、「展望」という三つの言葉に集約されます。行政は有権者皆さんからの負託が基本にあります。だからこそ、その課題解決に一生懸命に取り組んでいく誠実さを大切に



「融和と前進」を町づくりのキーワードに

したいと思っています。さらに、一つひとつの行政の取り組みが地域のために存在している以上、その取り組みを意味ある取り組みにしなければなりません。だからこそ、しっかりとした展望を大切にして取り組みを重ねたいと思います。私はこの三つを今後とも行政運営の信念に据えてがんばってまいります。決意です。

その上で、私は、旧三町村の合併で誕生した美郷町だからこそ、常に意識したいことがあります。それは、まずは融和です。地域の融和は一体感ある美郷の発展に欠くことのできない基礎条件です。それぞれの地域が長い時間をかけて培ってきた歴史と伝統文化、気風、そして様々な社会資本等を大切にしながら、一体感ある美郷町になるよう「融和」を

大切にしていきたいです。そして、次に意識したいことは地域発展に向けての前進です。この度の合併を地域発展に向けた一つのステップボードとして捉え、各般の制度や社会資本を充実させ、町民各位がめざす理想

に向かって美郷町は前進していかねばなりません。美郷町の未来に夢を、そして希望を持てるよう「前進」してまいります。そのため、「融和と前進」という言葉をこれからの町づくりの、そして施策の企画立案のキーワードに据えてまいります。このことを踏まえた施策展開の基

本方針等についてですが、まずは融和をめざして町民各位が地域を越えて集い、交流しやすいような行事等を開催してまいります。その切り口は芸術文化から産業振興、教育など様々な分野であると思いますが、機会をとらえて取り組みを重ねてまいります。

交流人口の拡大で町勢活性化を

また、美郷町の町勢活性化をめざして、定着人口の増加はもとより、交流人口の増大を一層図ってまいります。そのため、これまで旧三町村が築いてまいりました各地域との交流を大切にするとともに、平成十九

年秋田国体開催等に伴う人的交流を地域交流の足がかりとし、ひいては美郷の観光振興にまで結び付けていくよう、各般の取り組みを進めてまいります。

また、町づくり等についてより広く、より深い視点で様々な取り組みを捉えていけるよう、芸術文化をはじめとした各種催しを通じ、人づくりに向けた取り組みも重ねてまいります。

教育・子育て、高齢福祉支援策を充実

また、子供たちが感性、感受性を豊かに、そして健やかに育つとともに、次代の地域づくりの担い手として成長していくよう、学校教育をはじめ各種の環境整備に努めてまいります。また、多様な経験を視野の広い人格形成につなげるよう、学校間交流や各種研修等の推進に取り組んでまいります。

また、少子高齢化の進展に対応しながら、より一層住み良さを感じられるよう、子育て支援策の充実や高齢福祉等の支援策を講ずるとともに、特に高齢者がいきいきと生活を重ねられるよう、世代間交流など生きがい支援策を充実してまいります。

特色ある農業・商工業の振興に

また、美郷町の農業振興については、消費者の求める安全・安心を大切にして清浄なイメージで美郷ブランドが確立され、地産地消も含めて生産販売に特徴を持たせたいほか、経営基盤の強化に繋がる各般の取り組みを重ねてまいります。さらに商

業振興については、地域内商工業の特徴等を再認識し、地域内外の需要拡大につながる支援を講じてまいりたいほか、異業種間ネットワーク構築などによる特色づくりに取り組んでまいります。

生活基盤整備は旧三町村間のバランスを大切に

また、生活基盤の整備については、旧三町村間の整備状況を勘案しながら投資や事業実施にバランス感を大切にするとともに、優先させるべき整備を明確化させながら取り組んでまいりたいほか、特に生活の安全・安心につながる各種施設の整備についても計画的に取り組んでまいりたい所存です。さらに円滑な地域内交通を目指して、町内の交通網整備にも充分に意を払ってまいります。

住民参加の行政展開に努め町民の視点を大切にしたい

こうした方針での取り組みを計画的に具体化していくには、私をはじめ役場職員が自己研鑽を積みながら一丸となって取り組んでいくことが重要です。そのため、職員研修にも取り組むとともに、意思疎通を大切にして各般の取り組みに臨んでまいります。また、地方分権社会の中でできる限り住民参加の行政展開に努め、町民の視点を大切にしたい。また、町民の視点を大切にしたい。また、町民の視点を大切にしたい。また、町民の視点を大切にしたい。

重ねてまいります。

また、以上述べました取り組みを財政状況等も踏まえながら推進していくかなければなりませんので、財源確保に充分に留意するとともに、行財政環境に即した行財政の効率化にも意を払いながら取り組んでまいります。

継続事業の調整や基本構想の策定などに早急に取り組む

こうしたことを基本方針等とし、これからの町政運営に努めてまいりたいと存じますが、まずは平成十七年度も継続実施していきたい各種事業の内容等について調整を急いでまいりたい。また、合併協議の中で定められた新町建設計画を基本としながら、町づくりに向けた基本構想並びに実施計画について、財源を見通しながら早急に策定作業に取り掛かりたい。

また、組織機構についても、合併後の業務推進状況等を把握しながら、職員の適性配置などについて検討を重ねてまいります。さらに、町民各位の不安解消や町づくりへの声を大切にした町づくりを推進していくため、町民の声を聞き、そして意見交換ができる場を早急に創設してまいります。

誇りあるふるさと美郷の構築に邁進していきたい

いずれにいたしましても、基本方針等はしっかりとさせながら緊急の課題には早急に取り組む、これからの四年間、旧三町村が有する清水をはじめとした渺茫たる農地や山林、

歴史ある街並みや各種施設などそれぞれの特徴を大切にしながら、時代に即した新しさも加味し、新生美郷らしい町の基礎づくり並びに町づくりに持てる力をすべて発揮し、誇り

あるふるさと美郷の構築に邁進していく所存ですので、何とぞご理解とご協力、ご指導をよろしくお願いいたします。

可決された主な議案

- 美郷町議会広報特別委員会設置に関する決議について
- 農村振興総合整備統合補助事業における町営土地改良事業の計画概要の決定について
千屋地区の農業用排水施設整備を町営土地改良事業として施行するためのものです。
- 仙北東部特別養護老人ホーム一部事務組合規約の変更について
平成十七年三月二十二日から大仙市が設置されることに伴い、仙北東部特別養護老人ホーム一部事務組合から仙北町及び太田町を脱退させるとともに、大仙市として同組合に加入させるために、規約を変更します。
- 平成十六年度美郷町一般会計予算について
- 平成十六年度美郷町国民健康保険特別会計予算について
- 平成十六年度美郷町老人保健特別会計予算について
- 平成十六年度美郷町簡易水道事業特別会計予算について
- 平成十六年度美郷町下水道事業特別会計予算について

〔人事案件〕

固定資産評価審査委員会委員

- 泉 龍弘(美郷町畑屋)
- 小西 弘蔵(美郷町六郷)
- 藤田 智(美郷町野荒町)

教育委員会委員

- 清水 猛(美郷町六郷)
- 照井 成一(美郷町金沢西根)
- 後藤 貴子(美郷町六郷)
- 佐藤 孝(美郷町天神堂)
- 高橋 福雄(美郷町畑屋)

監査委員

- 久米 力(美郷町金沢西根)
- 佐々木順吉(美郷町六郷東根)

選挙管理委員会委員

- 渋谷 幸雄(美郷町金沢西根)
- 栗林 久雄(美郷町畑屋)
- 田沢 徹(美郷町千屋)
- 鈴木喜美夫(美郷町土崎)